

「深い学び」につながるアクティブラーニング いかに導入し、いかに続けるか

～全国大学の学科(非資格系)調査報告とカリキュラム設計の課題～

日時

10月6日(土) 11:00～17:30

場所

河合塾 麹町校 8階 デルファイホール

対象

大学、短大、専門学校などの教員の方
(ワークショップを行うため、教育実践をされている方を対象とします)

定員

60名

受講料

お一人様 10,000円
(報告書代および昼食代を含みます)

ここ数年で大きく導入が進んだアクティブラーニング。2012年3月の中教審大学教育部会・中間報告会でもその重要性が指摘され、ますます多くの大学で取り組みが広がっています。他方で、いかにカリキュラム設計すべきか、授業を組み立てるべきかについては、まだまだ大きな課題も見受けられます。

本セミナーでは、河合塾が2012年に行った全国大学の学科(医療・看護系、薬学系、福祉系などの資格系学科や芸術・体育系を除く)アクティブラーニングの全国調査から浮かび上がった現実と事例を紹介するとともに直面する課題を共有し、取り組みをさらに一歩進めるための議論を深化させます。多くの大学教員のご参加をお待ちします。

セミナーの概要・プログラム

第1部 「大学のアクティブラーニング調査」結果報告

資格系学科を除く953学科を対象にした「2011年度 大学のアクティブラーニング調査」の結果を分析。さらにその中から18学科を抽出して行った実地調査の結果と合わせて、導入が進むアクティブラーニングの現状を報告するとともに、今後の課題を明らかにします。報告後にグループでランチ・セッションを行います。

第2部 大学からの事例報告

今後のアクティブラーニングの進むべき方向について、大きな示唆を与える取り組みを行っている2大学からの報告です。報告後にグループに分かれてワークショップを行います。

第3部 「深い学び」につながる工夫とは

アクティブラーニングが学生のうちに引き起こす「深い学び(ディープラーニング)」について、溝上 慎一 准教授(京都大学)からの講演を受け、その後グループに分かれてワークショップを行います。

10:15～	開場
11:00～11:05	開会
11:05～12:20	第1部 「大学のアクティブラーニング調査」結果報告 河合塾からの報告 河合塾大学教育力調査プロジェクト
12:20～13:00	ランチ・セッション(昼食含む) 河合塾 開発研究職 成田 秀夫
13:00～13:30	第2部 大学からの事例報告 なぜ多くの授業でアクティブラーニングが導入されるのか ～「ちょっと大変だけれど実力がつく大学」の現場から～ 共愛学園前橋国際大学 国際社会学部長 教授 大森 昭生
13:30～14:00	演習と論文指導によるプラクティカル・エコノミストの育成 ～大阪市立大学経済学部の取り組み～ 大阪市立大学 経済学部 教授 中村 健吾
14:00～15:20	グループワークと討議 河合塾 開発研究職 成田 秀夫
15:20～15:35	休憩
15:35～16:35	第3部 「深い学び」につながる工夫とは 何を持ってディープラーニングとなるのか ～アクティブラーニングと評価～ 京都大学 高等教育研究開発推進センター 准教授 溝上 慎一
16:35～17:30	全体討議とまとめ 河合塾 開発研究職 成田 秀夫

第2部



大森 昭生
教授

共愛学園
前橋国際大学
国際社会学部長

<略歴>
東北学院大学大学院で研究後、1996年に入職。2003年に専任講師で国際社会学部長に選出される。地域共生研究センター長を兼務し、地域の公的委員等多数。共編著に『アーネスト・ヘミングウェイ-21世紀から読む作家の地平』(2011)、『ヘミングウェイ大事典』(2012)等がある。その他「地域に愛される大学のすすめ」(2011)には本学の取り組みが盛り込まれている。

第2部



中村 健吾
教授

大阪市立大学
経済学部

<略歴>
神戸大学大学院文化学研究科修了。神戸大学文学博士。大阪市立大学大学院経済学研究科教授。社会思想史専攻。大阪市立大学経済学部の(大学教育推進プログラム)である「4年一貫の演習と論文指導が育む士力」(2009-11年度)の取組推進責任者。主著は、『欧州統合と近代国家の変容』(昭和堂、2005年)。

第3部



溝上 慎一
准教授

京都大学
高等教育研究
開発推進センター

<略歴>
専門は青年心理学、高等教育。日本青年心理学会理事、大学教育学会常任理事など。神戸大学教育学部卒業、京都大学博士(教育学)。1996年京都大学高等教育教授システム開発センター助手、講師を経て、2003年より現職。教育学研究科兼任。大阪府立大学学長補佐。著書に『大学生の学び・入門-大学での勉強は役に立つ!』『現代青年期の心理学-適応から自己形成の時代へ』など多数。

全体のファシリテーター



成田 秀夫

河合塾
開発研究職・
現代文科講師

<略歴>
中央大学大学院・博士課程(哲学専攻)在学中から、河合塾にて現代文科講師を務める。授業では「わかることの愉しさ」を追求。また、大学生向けの「日本語表現講座」を開発し、自らも大学の教壇に立つ。2010年より、初年次教育学会理事を務め、講演会・シンポジウムのパネラーも精力的にこなしている。

内容の一部

- 知識を活用し課題解決を目的とする「高次のアクティブラーニング」は4年間にいかに配置すべきか？
- 「高次のアクティブラーニング」を「お遊び」にしないためには何が必要か？
- アクティブラーニング科目のカリキュラム設計はいかにあるべきか？
- 学生が獲得すべき能力の設定とカリキュラム設計をいかに関連させるか？
- アクティブラーニングと「深い学び(ディープラーニング)」との関連はどうなっているのか？
- 知識定着を目的とした「一般的アクティブラーニング」導入の有効な枠組みは？
- 専門ゼミにおけるアクティブラーニングは、いかに検証されるべきか？
- アクティブラーニングを組織的に導入する要件とは？

会場ご案内

河合塾 麹町校8F(デルファイホール) 東京都千代田区六番町1-3



- ・JR総武線市ヶ谷駅より徒歩3分
- ・東京メトロ有楽町線・南北線・都営新宿線市ヶ谷駅3番出口より徒歩3分
- ・JR中央線・総武線四ツ谷駅麹町口より徒歩5分
- ・東京メトロ丸ノ内線・南北線四ツ谷駅1番出口より徒歩6分
- ・東京メトロ有楽町線麹町駅6番出口より徒歩2分

お申し込み方法(定員60人になり次第締め切りとさせていただきます)／お問い合わせ

【お申し込み期間】 2012年 9月6日(木) ~ 2012年 10月 5日(金)17:00

【参加費用(報告書代および昼食代含む)】 おひとり様 ¥10,000(当日受付にてお支払い願います)

【お申し込み方法】 下記WEBサイト、またはFAXでお申込みください。

WEB: <http://www.kawai-juku.ac.jp/school/event/active/>

FAX :03(5958)1247

【お問い合わせ】 電話:03(6811)5531(※平日10:00 ~ 17:00) 河合塾教育研究部 担当:野吾(やご)、赤塚、朝岡

e-mail : zemiryoku@kawai-juku.ac.jp

FAX 申込み用紙: 03(5958)1247

「第2回河合塾FDセミナー2012」担当行

学校名	所在地:〒	
電話番号:	FAX番号:	e-mail:
氏名:	所属学部・学科:	役職:

氏名:	所属学部・学科:	役職:
氏名:	所属学部・学科:	役職:
氏名:	所属学部・学科:	役職: